

~~~~~  
会 告  
~~~~~

第 26 回西山記念技術講座開催のお知らせ

—— テーマ：構造用鋼の非金属介在物に関する諸問題 ——

主催 日本鉄鋼協会

第 26 回西山記念技術講座を下記により開催いたしますので、多数ご来聴下さるようご案内いたします。

I 第 26 回（東京地区）

- 1 期日 昭和49年 5月23日(木), 24日(金)
- 2 会場 農協ホール（千代田区大手町 1-8-3 農協ビル 9階 TEL 03-279-0311）

II 演題ならびに講師

第 1 日	9:30~12:00	鋼塊内の酸化物系大型介在物について	新日本製鉄(株)	梶岡博幸
	13:00~15:00	介在物の防止, 除去対策	住友金属工業(株)	田上豊助
	15:00~17:00	鉄鋼の諸性質におよぼす非金属介在物の影響	(株)神戸製鋼所	成田貴一
第 2 日	9:30~12:00	鋼中硫化物とその減少対策	川崎製鉄(株)	江島彬夫
	13:00~15:00	硫化物系介在物と鋼の延性および靱性	日本鋼管(株)	小指軍夫
	15:00~17:00	鋼中介在物と疲労その他の性質	東京大学	荒木透

III 講演内容

1 鋼塊内の酸化物系大型介在物について 梶岡博幸

鋼材品質や鋼材歩留に強く関係し、鋼塊の致命的欠陥の 1 つと考えられている酸化物系大型介在物の製鋼工程での挙動について、最近の研究成果をもとに概説した。特に、大型介在物の軽減防止対策の確立に資するため、大型介在物の鋼塊内での分布状況を実用鋼塊の切断例により示し、それをもとに鋼塊内での介在物の分布を支配する要因や介在物の起源について詳述した。

2 介在物の防止, 除去対策 田上豊助

溶鋼の脱酸法、造塊時および連铸時の介在物の防止, 除去対策について概観する。脱酸は酸化介在物の質を左右するので、脱酸剤の種類, 添加量, 添加方法が重要となる。造塊, 連铸時の対策として空気酸化の防止, 耐火物, 被覆剤の混入防止, 铸型内の浮上分離の促進と, それを妨害するマッシュゾーンの生成などについて述べる。

3 鉄鋼の諸性質におよぼす非金属介在物の影響 成田貴一

鉄鋼中の非金属介在物と鋼の諸性質, とくにじん性, 疲労におよぼすその影響について, 斯界の研究の概要を述べる。

4 鋼中硫化物とその減少対策 江島彬夫

鋼の凝固過程における硫化物の生成に関する基礎研究の結果と鋼塊および連铸铸片における硫化物の性状ならびにその分布についての観察を整理し, ついで, たとえば寒冷地向ラインパイプ材のように破面遷移温度, シェルフエネルギー, セパレーションなどに対する要求がきびしい材料の製造に供する大型鋼塊の硫化物形態調整とそれに必要な製鋼条件, さらに, 全般的に鋼中硫化物の減少対策について述べる。

5 硫化物系介在物と鋼の延性および靱性 小指軍夫

鋼中の MnS 介在物は延性を低下させ, また異方性の原因になる。ここではその実態を明らかにするとともに, クロス圧延, 介在物形状制御の効果, 破壊機構に関する最近の研究結果などにつき述べる。靱性については不明な点が多いが, 現状の知識の要約を試みる。

6 鋼中介在物と疲労その他の性質 荒木透

鋼中の非金属介在物の疲れ性質に及ぼす影響をまず金属組織学的に解説し, 硫化物, 酸化物, 鉛系介在物などの介在物の疲れ破壊特性への影響に関する従来の研究結果の展望綜括を行なう。続いて主として加工性被削性に対する介在物の役割りについての知見をマイクロ組織と延性の面からとりあげ解説を試みたい。

IV 聴講無料（事前の申込みは必要ありません）

V テキスト 2000 円

VI 問い合わせ先 日本鉄鋼協会編集課 千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 Tel. 03-279-6021

圧延理論部会 20 周年記念シンポジウム
日本における圧延理論の歴史的発展と
最新の圧延技術

期 日：昭和49年6月3日(月)，6月4日(火)

場 所：神田学士会館（一ツ橋）

6月3日（第1日目）

- 9:30～9:40 開会の挨拶 吉田部会長
司会 加藤健三（大阪大学教授）
- 9:40～10:20 圧延理論部会の歴史的発展
吉田正人（部会長）
- 10:20～11:10 圧延加工技術の進歩への金属及び
機械技術者の寄与
五号勇雄（東京大学教授）
- 11:10～12:00 最近20年の圧延研究の進展
鈴木 弘（東京大学教授）
<昼 休 み>
- 司会 藤本克己（川崎製鉄）
- 13:00～13:40 圧延理論部会の共同研究成果
中島浩衛（新日鉄・幹事）
- 13:40～14:10 冷間圧延における変形抵抗の動的効果
木原諒二（東京大学助教授）
- 14:10～14:40 冷間圧延における潤滑と表面
岩崎 守，馬場敬志（東洋鋼鋳）
- 14:00～15:10 一般討論
司会
- 15:20～16:00 完全連続冷間圧延法の基礎理論と開発
有村 透（日本鋼管）
- 16:00～17:00 冷間タンデム圧延の総合特性
阿高松男（東京大学）
- 16:30～17:00 油圧式圧延機の進歩
野村 進，塩崎宅行（石播）

17:00～17:30 一般討論

6月4日（第2日目）

- 司会 安藤卓雄（東洋鋼鋳）
- 9:00～9:30 シングルプラネタリーミルと圧延特性
出向井登（大同製鋼）
- 9:30～10:20 圧延理論とコンピュータ
岡本豊彦（住友金属）
- 10:20～11:00 板材の圧延形状制御の基礎理論と応用
中川吉右衛門（川崎製鉄）
- 11:00～11:30 冷間圧延における形状制御システム
志田 茂（日立製作所）
- 11:30～12:00 一般討論
<昼 休 み>
- 司会
- 13:00～13:40 H形鋼連続圧延の開発と基礎理論
原田利夫，中島浩衛，岸川宮一
中保伸一（新日鉄）
- 13:40～14:10 条鋼圧延理論の現況
斎藤 弘（大阪大学助教授）
- 14:10～14:40 最近の線材圧延設備と発展
坪根 勝（神戸製鋼）
- 14:40～15:10 連続圧延無張力制御
横田俊一（東芝電気）

- 15:10～15:40 一般討論
司会
- 15:45～16:05 圧延研究の今後の課題
松浦佑次（早稲田大学教授）
- 16:05～16:15 閉会の挨拶
豊島精三（九州大学教授）

- ・前刷テキストについて
前刷テキストは5月上旬に出来上る予定です（予価2,000円）前刷テキストのお申し込みは連絡先明記の上代金を添えて下記宛お申し込み下さい。
- ・出席申込は必要ありません。
- ・前刷テキスト申込先
〒100 東京都千代田区大手町経団連会館3階
日本鉄鋼協会技術部 八子一丁

第18回材料研究連合講演会講演募集

- 主催 日本学術会議材料研究連絡委員会
共催 日本鉄鋼協会ほか
開催日 昭和49年9月12日(木)，13日(金)
会 場 京都府立勤労会館
京都市中京区烏丸九太町南入

講演申込

1. 参加学協会所属の会員は当該学会を通じて申込み
参加学会会員以外は直接幹事学会に申込みこと。
2. 講演内容はすでに発表されたものでもさしつかえないが、最近の研究に属するものが望ましい。
なお、研究内容は材料諸物性、諸性質の測定および試験ならびに材料の適切な使用に関する応用研究を包含する。
なお、今回も後記主題によるシンポジウムを開催するので、多数の参加を期待する。
3. 講演時間は約20分（討論を含む）の予定
4. 講演の採択などは材料研究連合講演会運営委員会に一任されたい。
5. 申込用紙はB5判とし次の事項を必ず記載すること。
 - a) 講演題目
 - b) 梗概約200字
 - c) 講演部門名(下記講演部門参照のこと)
 - d) 講演者ならびに連名者の各氏名、勤務先、通信先、学会員資格、年齢(連名の場合は登壇者に○印をつけること)
 - e) 講演題目、氏名、勤務先には英文を付記すること
 - f) スライド使用の有無(大きさは35mm)
 - g) 欧文論文集(付記参照)へ投稿希望の有無

申込締切 昭和49年6月10日(月)

講演前刷

- 参加者のテキストとし、あわせて講演時間の短縮、掛図などの節約のため、講演者全部の講演前刷を作るので講演者は前刷原稿を必ず期日までに所属学会へ(参加学会会員以外は申込んだ幹事学会へ)提出すること
- a) 講演前刷原稿提出締切期 7月10日(水)
 - b) 前刷原稿は所定の原稿用紙2枚以内に(図表、写真を含めて邦文で約2,600字)明りょうに墨書き

- しなるべく余白をさけるように留意のこと
 c) 所定原稿用紙は講演申込者に所属学会から送り、
 所定用紙以外に書いた原稿は受理しない。

講演部門

- I 微視的構造 (Micro structure of Materials)
- II 材料の力学的性質と挙動 (Mechanical Properties and Behavior of Materials)
- III 材料の物理的性質 (Physical Properties of Materials)
- IV 材料の化学的性質 (Chemical Properties of Materials)
- V 構造物強度 (Strength of Structures)
- VI 材料の加工と処理 (Working and Processing of Materials)
- VII その他 (Special Problems)

< シンポジウム >

下記主題によるシンポジウムを開催いたしますので、
 多くの方々の講演を募集します

主 題 材料の破壊機構

【付記】

1. 発表論文は Proceedings of the 18th Japan Congress on Materials Research の載せ、諸外国に頒布の予定である。
2. 本論文集に掲載される論文は今回発表されたもので、欧文で未発表のものに限る。
3. 投稿希望者は別に送られる所定原稿用紙に執筆し諸講演会当日までに日本材料学会気付 材料研究連合講演会論文集刊行会 (京都市左京区吉田泉殿町1の101 〒606 Tel. (075) 761-5321) に提出すること。
4. 当日以降の提出原稿は受理しない。また、不備な原稿は返却することがある。なお、原稿は当日会場でも受付ける。

第 21 回腐食防食討論会

共 催 本会、腐食防食協会ほか
 開催期日 9月28日(土)、29日(日)、30日(月)
 会 場 東北大学記念堂 (仙台市川内)
 討論主題 環境脆化
 応力腐食割れ、おくれ破壊(水素脆性その他)
 および腐食疲労 (フレッチングをふくむ) に
 ついて現場ならびに研究室からの問題点提起
 と問題解決の方法について討論したい。

講 演

- (1) 特別講演 講演者は実行委員会が選定依頼する。
- (2) 一般講演
 - (a) 講演者は一般から募集する。
 - (b) 応力腐食割れは高温高圧環境に限定する。おくれ破壊、腐食疲労については範囲を限定しない。講演は問題点の提起を主眼とし、単なる研究発表にならないように注意されたい。
 - (c) 講演申込締切期日 5月15日(水)
 - (b) 申込先 980 仙台市片平 2-1-1
 東北大学 金属材料研究所
 第21回腐食防食討論会実行委員会

- (e) 申込方法 講演題目、講演予定時間、講演者氏名、所属を明記、他に講演アブストラクト (1300字内外)を添付すること。
- (f) 応募者が予定を超過した場合には実行委員会で調整する。

講演予稿集 特別講演、一般講演とも1題 5000字の予稿集をつくる。

- (i) オフセット印刷とする。原稿用紙は腐食防食協会から講演者におくる。
- (ii) 原稿提出期日 6月30日(日)
- (iii) 原稿送付先 113 東京都文京区弥生 2-4-16
 学会センタービル 腐食防食協会

参加申込 参加希望者は 1)氏名、2)勤務先、3)同宛先(〒No.)を明記の上、必要な会費を添えて、8月31日(土)までに、腐食防食協会宛申し込むこと。

(1)会費 参加登録費 1名 1000円
 講演要旨集 1冊 1000円(含送料)、懇親会費 1名 1000円

第 47 回塑性加工シンポジウム

主題: プレス加工品の製品設計

—主として板材成形品について—

日 時: 昭和49年5月14日(火) 9:00~17:00
 場 所: 日本青年館 (東京都新宿区霞ヶ丘11 明治神宮外苑)

内容:

- 9:00~9:40
 1. 中小形プレス成形品の製品設計
 東芝生産技研 杉村 俊雄
- 9:40~10:20
 2. 大形プレス成形品の製品設計
 トヨタ自工 森本 毅
- 10:30~11:00
 3. 板材プレス成形技術と製品設計
 理化学研 吉田 清太
- 11:00~11:30
 4. せん断加工技術と製品設計
 東大生産技研 中川 威雄
- 11:30~12:00
 5. プレス加工品の強度及び剛性
 一 昼 休 み 一
 宮川 松男
- 13:00~15:30 (各 20分)
 6. 加工方法改善例または設計改善例
 螢光灯器具設計標準化による冷間ロール成形について
 東京電気三島 加藤 弘正
 ハイブジョイトの設計変更による加工法改善について
 富士鉄工所 太田 哲
- 上記の他5件の講演予定
 15:45~17:00
 7. パネルディスカッション
 シンポジウムテキスト
 ご希望の方はお申し込み下さい。

代金：会 員（共催会員を含む）1冊 2,000 円
 会員外 1冊 4,000 円

申込締切日：昭和49年4月20日（土）

申 込 方 法：ハガキ大の用紙①に氏名，②通信先，③勤務先，④出欠の有無，⑤申込部数を明記し必ず代金（現金書留）を添えて下記へお申し込み下さい。

記

申込先：東京都港区六本木 5-2-5 トリカツビル
 社団法人 日本塑性加工学会
 Tel. 03-402-0849

1975 国際複合材料会議 (ICCM)

主 催：米国鉱山・冶金・石油学会の冶金協会
 (AIME)

日時と場所：第1回会議：April 7-11, 1975, Geneva,
 スイス

第2回会議：April 14-18, 1975, Boston,
 米国

第2回会議では Geneva の会議の論文の報告と討論および追加論文の提出。

- Session 1. Advanced Filaments, Fibers and Wiskers,
- Session 2. Polymer Matrix
- Session 3. Physical and Mechanical Properties
- Session 4. Designing With and For Composite Materials (to include Thermal, Electrical, Chemical and Mechanical)
- Session 5. Fabrication—Methods and Evaluation
- Session 6. Testing
- Session 7. Commercial Applications to Structures and Devices—Present and Future

論文提出および問合せ先

Mr. A. R. Scott, Asst. Executive Secretary of the Metallurgical Society, AIME 345E, 47th St New York, N. Y. 10017, または

Dr. E. Scala (組織委員長), P. O. Box 1362, Cortland, New York, N. Y. 13045

国内連絡先：横堀武夫教授（東北大学）および林 毅教授（中央大学）